

2021年度①

憲 法

(全 1 ページ)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 解答用紙・下書き用紙は、この冊子の中に折り込んであります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入下さい。
4. 解答は指定された範囲に記載すること。「書き終わり」をこえて記載した場合は、採点をしないことがあります。
5. 試験終了後、問題冊子・下書き用紙は持ち帰り下さい。

憲法①

次の問題IまたはIIのうち1問を選択して解答しなさい。(100点)

解答用紙に選択した問題の番号を記入すること。

- I 近年、いわゆるソーシャル・ネットワークサービス（以下、SNS）上において、特定の人物とりわけ著名人に対するバッシングが過熱する事態がしばしば生じている。SNSを通じた発信は、匿名性が確保された状態で一方的に行われるという特徴から、特定の人物にバッシングが集中する過程で、表現内容が過激化する傾向がある。SNS上での苛烈なバッシングを受けた結果、精神疾患を発症する者や、中には自殺してしまう者も出ていることから、A省では、SNS上における誹謗中傷表現に限定した規制を行う法案（以下、法案）の作成が進められている。

法案では、「誹謗中傷表現」を「専ら他者の人格を著しく否定するために行われたことが明らかな表現」と定義し、SNS事業者に対し、「誹謗中傷表現」を確認した場合には当該表現を削除する義務を課すこととされている。

また、いわゆる独立行政委員会として「誹謗中傷表現」規制委員会（以下、「規制委員会」）を設置し、規制委員会がSNS上に「誹謗中傷表現」を確認した場合、SNS事業者に対して当該表現の削除命令を発出する権限を規制委員会に付与している。SNS事業者がこの命令に従わない場合は、当該SNS事業者に対して一年以上の懲役又は500万円以下の罰金を科すこととされている。

この法案に含まれる憲法上の問題点について論じなさい。なお独立行政委員会の合憲性については論じなくてよい。

- II 憲法改正に限界があるかどうかについて論じなさい。